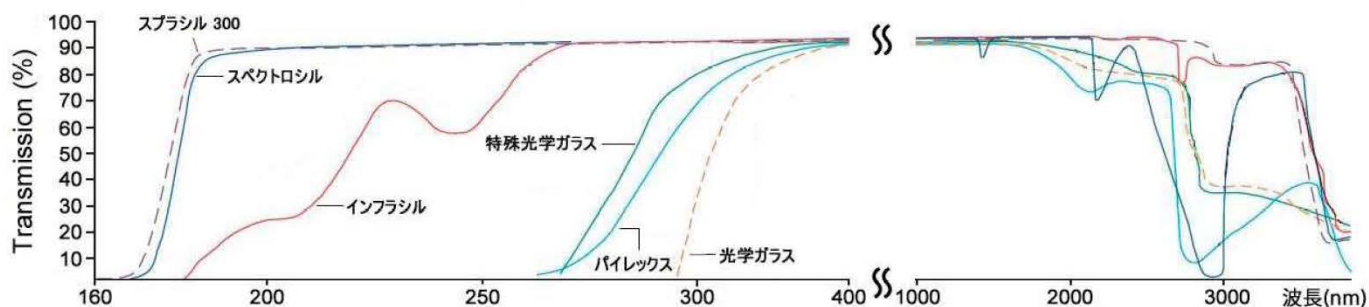


セルの材質と光学窓の透過率特性

- ・下図は同社のセルで使用している材質毎のおおよその透過率を表し、下表は材質毎の透過率 80%を保証する波長領域です。このスペクトルは表面での反射損失を含んでおらず、また光学窓は 1.25mm 厚のため通常の分析目的に対しては窓自身による吸光は無視できます。
- ・蛍光光度計にはバックグラウンドの無いスペクトロシル®石英をお勧めします。他材質、特にガラスや低グレードの石英では余計な蛍光が生じる場合があります。
- ・同社の蛍光セルは入念な研磨・独自の製法によりレーザー用途にも使える精密さを備えています。



材質	記号	波長領域	用途
光学ガラス	G	334～2500nm	可視光領域用
特殊光学ガラス	SOG	320～2500nm	可視光領域用
バイレックス®	PX	325～2500nm	可視光領域用
スペクトロシル® 石英	Q	190～2700nm	遠紫外光～可視光領域用
インフラシル® 石英	I	220～3800nm	紫外光～近赤外光領域用
スプラシル 300® 石英	SX	190～3500nm	遠紫外光～近赤外光領域用

各製品頁下部にも表中の窓材質にある記号が示す材質とその波長領域を記載しています。

光学窓の位置:Z 高さ

- ・Z 高さとは、セルの底からサンプルを入れる試料室の光学窓(測定光が通るエリア)の中心までの高さを表します。
- ・光学窓は円形と角型があり、効率的に測定を行うには光学窓のサイズが測定光と同じかそれより少し大きめであることが推奨されます。
- ・分光装置の Z 高さは一般的に 8.5mm または 15mm ですが、稀に 5mm や 20mm などもあります。サブマイクロセルやマイクロフローセルなど光学窓が小さいセルを使用する場合、Z 高さの選定は重要です。

■参考: 主な分光装置メーカーの Z 高さ

Z 高さ(mm)	メーカー名
8.5	Beckman
	Bio-Rad
	Hitachi(日立ハイテク)
	Eppendorf
	Spectronics
	Turner
15	Agilent
	GBC
	Hewlett-Packard
	Jasco(日本分光)
	Perkin-Elmer
	Pharmacia
	Scinco
Shimadzu(島津製作所)	
20	Varian

